

しながわ



防災学校



地域実践コース

地域の安否確認ルールづくり

二葉一丁目町会防災区民組織

平成 30 年 10 月 13 日（土）

午前9時～午前11時30分

しながわ 防災 学校

地域の安否確認ルールづくり

平成30年10月13日（土）午前9時～午前11時30分

二葉一丁目町会防災区民組織

研修の目的と目標

目的

地域で実施する安否確認ルールの方針または改善の方向性について理解する

目標

- 地域で想定される災害と影響について理解する
- 地域の安否確認ルールの現状と問題点について理解する
- 安否確認の先進事例を基に、地域に応じたルール作りの基本的な考え方について理解する
- 安否確認ルールの方針または改善の方向性について理解する



目次

1. 想定される災害とその影響	4
2. 安否確認の必要性	15
3. 現在の取り組み確認	20
4. 安否確認の先進事例紹介	27
5. 今後の取り組み検討	34
6. まとめ	37

1. 想定される災害とその影響

1. 想定される災害とその影響

首都直下地震で想定される揺れの強さ

首都直下地震では、ほぼ全ての地域で震度6強程度の非常に強い揺れが想定されている！

震度6強の揺れって？

- はわないと動くことができない、飛ばされることもある
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる

震 度

震度7
震度6強
震度6弱
震度5強
震度5弱
震度4



参考：【左下表】気象庁震度階級関連解説表 (<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/shindo/kaisetsu.html>)、【右図】首都直下地震対策検討ワーキンググループ最終報告（2015年12月）



しながわ
防災
学校

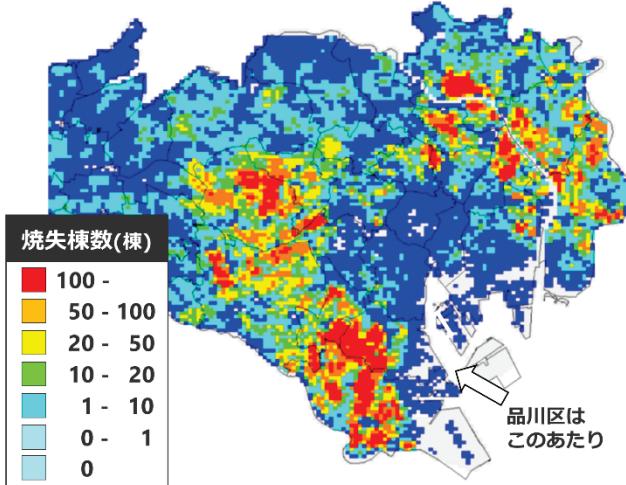
1. 想定される災害とその影響

10

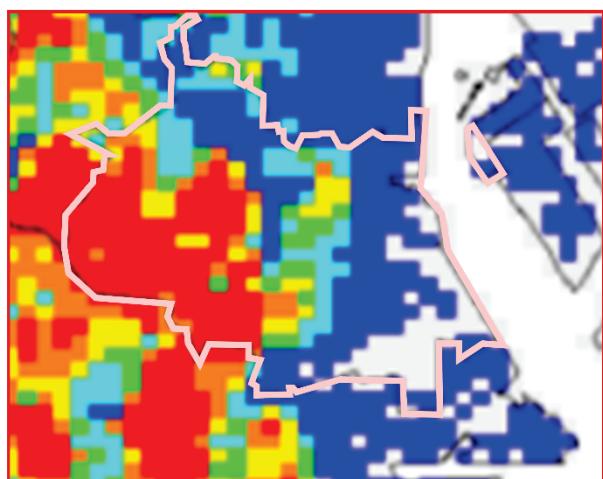
延焼火災の危険性

2・3区の延焼火災被害想定

東京湾北部地震における焼失棟数分布（冬18時、風速8m/s）



品川区の延焼火災被害想定





1. 想定される災害とその影響

首都直下地震の被害想定（品川区）

人的被害

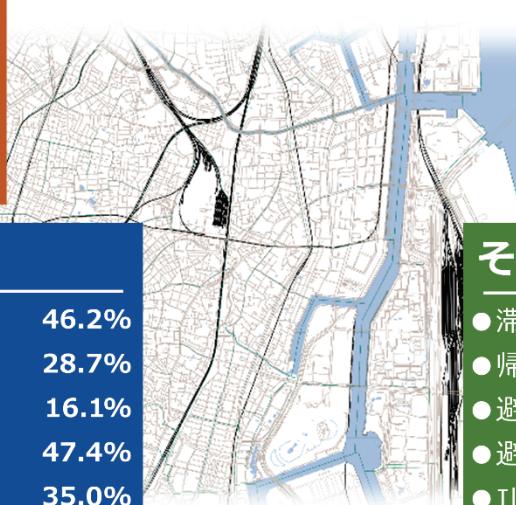
- 死者 779人
- 負傷者 8,016人
(うち重傷者1,376名)

建物の被害

- 建物全壊 25,376棟

ライフラインの被害

- 上水道（断水率） 46.2%
- 下水道（管きょ被害率） 28.7%
- ガス（供給停止率） 16.1%
- 電力（停電率） 47.4%
- 通信（不通率） 35.0%



その他被害

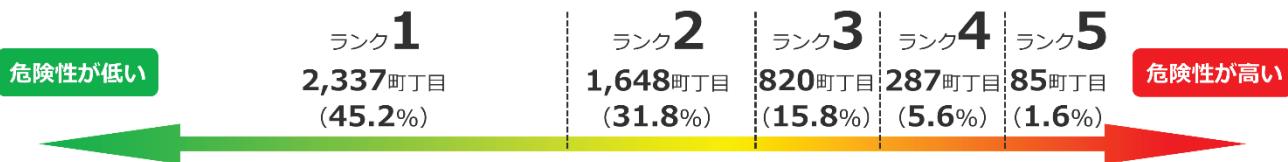
- 滞留者 480,501人
- 帰宅困難者 179,084人
- 避難者 184,510人
- 避難所生活者 119,932人
- エレベーター閉じ込め台数 370台

参考：品川区「わが家の防災ハンドブック（pp.5-6）」（2013年3月）

大規模地震が発生した時の地域の危険とは

地域危険度

都内全地域で同じ強さの揺れが生じた場合の相対的な危険性を測定した指標



- 建物倒壊危険度、火災危険度、災害時活動困難度、総合危険度の4つの指標を測定
- 危険度のランクは相対評価のため、当該地域の安全性が向上していても他の町丁目の安全性がさらに向上している場合には、危険な方向にランクが変化している場合もある

参考：東京都都市整備局「地震に関する地域危険度測定調査報告書（第8回）」（平成30年2月公表）

私たちの地域（二葉一丁目町会）の潜在的な危険は？

危険度	二葉 一丁目	大井 二丁目	評 価
● 建物倒壊危険度	3	3	地域内には、耐震性が高いとは言えない建物が存在しています
● 火災危険度	3	4	地域内は、出火・延焼の危険性が比較的高い地域です
● 災害時活動困難度	2	3	地域内は、避難や消火・救助などの活動に係る幅員の広い道路や小公園が占める割合が比較的小さい地域です。
● 総合危険度	3	4	地震の揺れによる火災危険性が比較的高く、避難や消火・救助などの活動に係る幅員の広い道路や小公園が占める割合が比較的小さい地域です。

参考：東京都都市整備局「地震に関する地域危険度測定調査報告書（第8回）」（平成30年2月公表）

2. 安否確認の必要性

2. 安否確認の必要性

災害対応の流れ

自助 身の安全の確保

身を守る行動、火の始末・初期消火、
家族の安否確認



共助 安否確認・2次被害の防止

情報収集・伝達、安否確認、初期消火、
救出・救護



共助 避難誘導

避難行動要支援者の避難誘導

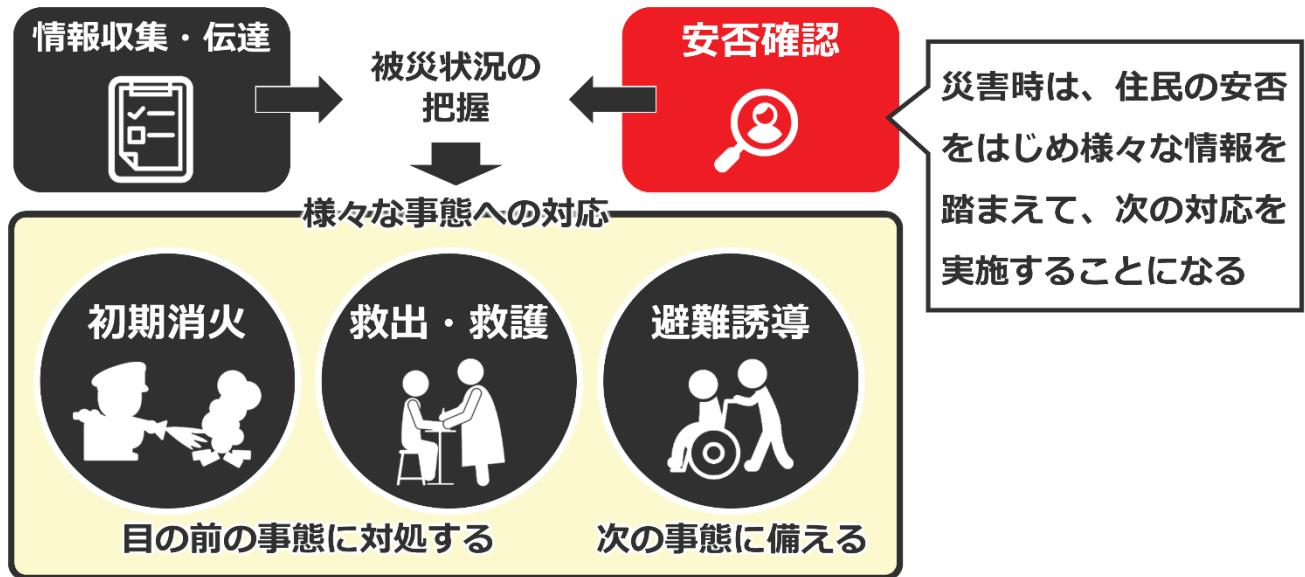


共助 避難所運営・在宅避難者支援

避難所開設・運営、在宅避難者への対応



地域で取り組む応急活動



安否確認の目的

【発災直後】

- 住民のいのちを守るために、支援が必要な人の状況を把握する
- 安否情報をもとに、「救出・救助」や「負傷者への手当・搬送」など
「共助」によるいのちを守る活動を行う

【少し落ち着いてきたら…】

- 行方不明者の搜索、物資・情報の提供、要配慮者への支援などのために、
「安否情報」を区に提供する

迅速かつ確実な安否確認が、いのちを守ることにつながる

特に注意すべき対象者の明確化

要配慮者

高齢者、障害者、乳幼児その他の
特に配慮を要する者

避難行動要支援者

要配慮者のうち、災害時等に自ら避難す
ることが難しく、特に支援が必要な者

避難支援等関係者

避難行動要支援者の避難支援等に関係する者
安否確認・避難誘導を実施

要配慮者

これまで使われていた「災害時要援
護者」にかわって、平成25年6月
の災害対策基本法の改正から使われ
るようになった言葉

避難行動要支援者

介護が必要な高齢者や、一定程度の
障害を持つ方や避難に支援が必要と
区が判断する方など

参考：品川区「品川区要配慮者支援全体計画【モデル図】」

3. 現在の取り組み確認

二葉一丁目町会の「安否確認」ルールの現状（地震時）

【実施基準】

東日本大震災と同程度の地震発生時

【実施内容】

町会役員と民生委員が、下記の対象者に対して安否確認を実施する

- 民生委員が持っている名簿に記載の方
- 町会が持っている名簿に記載の方（品川区避難支援個別計画作成名簿（平常時外部提供用））
- 町会会員で安否が心配な方

平時は「見守り隊」を構築し、隣近所の方の様子が普段と異なる場合に、気付いた方が、役員に連絡し、役員や民生委員が様子を伺うシステムを構築している。

作業①：付箋紙に意見を書き出しましょう

「安否確認」を行うまでの課題を検討し、
黄色の付箋紙に書き出してください

安否確認の
具体的な手順が
決まっていない

会員全体に
仕組みを周知
できていない

1枚につき1つのことを書く！

考える際の視点

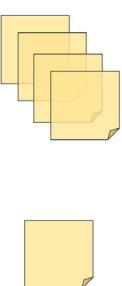
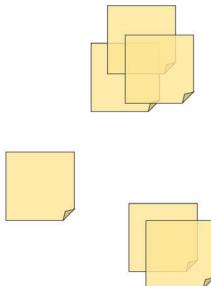
- ルールや手順に関すること
- 啓発や訓練に関すること

まずは、各人で考えられることを書き出してみましょう

作業②：意見を共有しましょう

1枚ずつ読み上げた後、模造紙に貼り出しましょう

- 1枚ずつ読み上げ、模造紙に
貼り出しましょう
- 近い内容の意見は、重ねるな
どして集約しましょう

体制・ルール	訓練・啓発
	

解説：「安否確認」を実行する上での課題

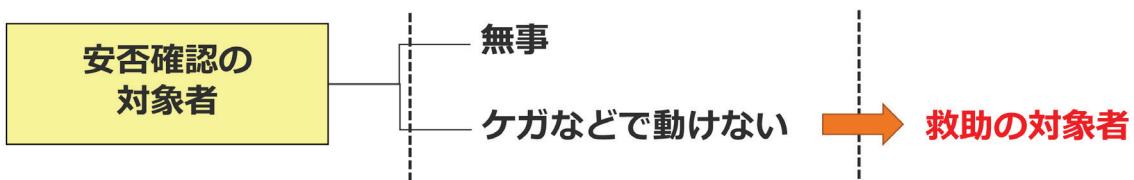
ルールに沿って「安否確認」を行う上での課題は何か？

- ① 安否確認の目的を達成するための、的確な安否確認ができないのではないか？
- ② 安否確認を実施するにあたって、具体的な方法が決まっていない部分があるのではないか？

解説：「安否確認ルール」実行上の課題①

組織による安否確認活動に係る課題

安否確認の目的を達成するための、的確な安否確認ができないのではないか？



安否確認の対象でない方は…？

解説：「安否確認ルール」実行上の課題②

組織による安否確認活動に係る課題

安否確認を実施するにあたって、具体的な方法が決まっていない部分があるのではないか？

確認する人の
数が足りない

世帯数に対して数が足りない

留守・けがなどで数が足りなくなる可能性

安否確認の方法が
決まっていない

確認の手順や役割分担が決まっていない

役割分担が決まっていない

4. 安否確認の先進事例紹介

4. 安否確認の先進事例紹介

自治会の災害対策本部における位置付け

体制・ルール

- 「情報収集・伝達係」が、安否確認情報を一元的に集約

地区本部

<高木町自治会（国分寺市）>

- 防災部員・自治会役員は、被災する可能性など少人数になることが予想される
- 本部の運営に精通している防災部員や自治会役員が、係に分かれて災害対応に当たる

地区防災センター（第三中学校）

↑
高木町地区本部（市営住宅集会室）
 ↓
 <地区本部要員>
 本部長：自治会長・会長不在の時は防災部長・副会長
 スタッフ：自治会役員・防災部員・防災ボランティア
 住民の応援者

情報収集・伝達係

安否情報の収集・集約
 情報の収集・伝達
 被害・避難状況の把握
 広報
 パソコンへの入力

救護活動係

負傷者の救護
 住民の避難・誘導
 初期消火活動

在宅避難係

住民の避難・誘導
 防犯巡回活動
 応急修理の支援
 災害ごみ処理

住民全員で安否確認を実施する

体制・ルール

- 住民全員が5軒の安否確認を行い、自分の家と合わせた6軒分の情報を班長に報告（紙に書いてポストに入れる）

全員で行う安否確認訓練 <三井杉田台自治会（神奈川県横浜市磯子区）>

- 班長は、自分の班の確認結果を名簿と照合し、トランシーバー（近い人は徒歩）で自治会本部に報告
- 班長は、安否確認済みの家の玄関に「状況表示板」を貼る
(ラミネート加工したA4版で班長が多数保持)
未確認世帯の判別と救援がスムーズに実施できるよう、無事なら表面（黒）、「けが人がいる」「水が欲しい」など、問題がある場合は裏面（赤）を使う

参考：横浜市「まちの安心・安全につながる『ヨコハマの『減災』アイデア集（3 安否確認ができる関係をつくろう）』

住民自らが安否確認の意思表示を行う

体制・ルール

- 自宅の玄間に「印」を掲げたり、常設の「ホワイトボード」に世帯の安否情報を書きこんで報告

黄色いハンカチ

<鈎取ニュータウン町内会（宮城県）>

- 住民自ら自宅の玄間に「印」を掲げて、「無事」を知らせる
- 班長は、地域を見回り、印が掲げられていない世帯の無事を確認する
- 地震発生後35分で、
全129世帯約400人の安否を確認できた



ホワイトボード

<グランフォーレ戸塚ヒルブリーズ自治会（神奈川県）>

- 管理棟に、各戸の部屋番号が予め記入されたホワイトボードを常設し、災害時には各世帯が自分で安否の状況を書き込む
- 安否情報の集約は本部が行う



参考：仙台市「東日本大震災時の自主防災活動-あの日-」、横浜市「まちの安心・安全につながる『ヨコハマの『減災』アイデア集（6 マンションの対策に学んでみよう）』

平時に安否確認希望者をアンケートで確認する

体制・ルール

- 毎年全戸にアンケートを実施して災害時の安否確認希望者を募り、独自の名簿を作成

アンケートで安否確認希望者を募集 <公園南住宅防災隊（東京都練馬区）>

- 安否確認方法は、以下から選択する
 - A) ガラスを割ってでも確認
 - B) ガラスは割らず窓から確認
 - C) 玄関ドアを叩く
- 発災時は、安否情報を全フロア配置図などに書きこんで被災状況を把握

参考：東京都「東京防災隣組第四回認定団体活動事例集」

平時に作成した「地域みまもりマップ」の活用

体制・ルール

- 民生委員が予め作成していた「地域みまもりマップ」により高齢者等の要支援者の安否確認を実施

マップを利用した安否確認 <旧門前町（石川県輪島市）>

- 地域マップは、寝たきりや一人暮らしの高齢者などの所在地を蛍光ペンで色分けして、あらかじめ明らかにした地図
- 民生委員や福祉推進委員が日頃の見まわり活動を通じて、高齢者等の所在地が頭に入っていたこと、顔なじみになっていたことが功を奏した
- 発災直後の避難誘導活動だけでなく、その後の在宅避難者支援（特に要配慮者）などの活動でも役立った



地域みまもりマップ（イメージ）

参考：内閣府防災「コラム「地域みまもりマップ」による迅速な安否確認（能登半島地震）」

子ども主体の訓練の実施

訓練・啓発

- 帰宅困難により大人が不在の際も安否情報を収集できるよう、子ども主体の訓練を実施

夜間防災訓練 <ザ・パークハウス 津田沼奏の杜（千葉県習志野市）>

- 大人が不在の際も安否情報が収集できるよう、夜間の災害を想定した訓練を実施（参加者113名、うち子ども60名）
- 無線機等の防災備品使用体験

参考：三菱地所レジデンス株式会社、三菱地所コミュニティ株式会社 (https://www.mec-r.com/news/2016/2016_0825.pdf)

5. 方針・改善の方向性の検討

2. 防災区民組織として取り組むべきこと

作業①：付箋紙に意見を書き出しましょう

事例を参考に、課題の対策案やルール案を検討し、
緑色のふせんに書き出してください

役員が担当する
対象者を
明確にする

回覧板で
安否確認方法を
周知する

1枚につき1つのこと書く！

考える際の視点

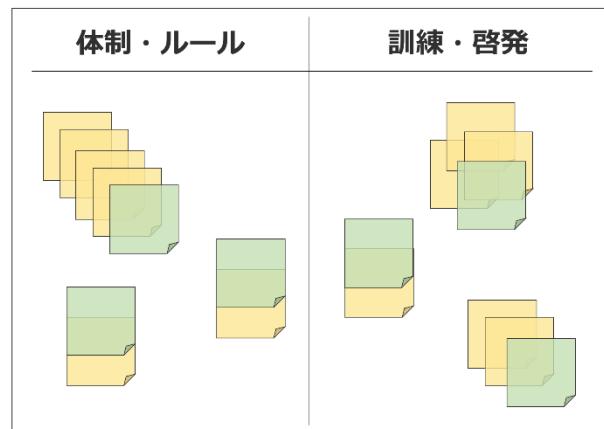
- ルールや手順に関すること
- 啓発や訓練に関すること

まずは、各人で考えられることを書き出してみましょう

作業②：意見を共有しましょう

1枚ずつ読み上げた後、模造紙に貼り出しましょう

- 1枚ずつ読み上げ、模造紙に貼り出しましょう
- 対応する課題の付箋紙の近くに貼り出しましょう



6. まとめ

6. まとめ

安否確認ルールをより実効性の高いものにするには

住民・地域が、仕組みを理解し、理解したことができるようになる

④教育・訓練

- ルール・方法を周知し、理解してもらう
- 定期的に訓練を行う
- 訓練結果から課題を把握し、①～③を見直す



①体制

担当する人（役割）を決める

誰が

②手順・方法

手順や方法を決める

何を、どのように

③道具

効率的に実施するための道具を準備する

何を使って

1つ1つ活動を積み重ねて、実効性を高めていきましょう

